

会議録

会議の名称	令和2年 第5回東大阪市特別職の議員報酬等審議会
開催日時	令和2年 6月 29日(月) 15時00分から17時00分
開催場所	本庁舎11階 会議室
出席者	石津委員 大石委員 小林委員 高橋委員 田中委員 平本委員 村岡委員 事務局
欠席者	なし
案件名	・市長及び副市長の給料額及び期末手当のあり方について
提出された資料等の名称	・一般職職員の給与改定状況等 ・市長等給料額の変遷 ・市長・副市長給料等にかかる中核市調査結果まとめ ・本市職員の期末・勤勉手当支給月数の変遷 ・給与に関する法律一部改正(令和元年)
決定事項	第6回審議会日程 市長・副市長の給料額のあり方の方向性
会議の公開、非公開	非公開
会議録の公表、非公表	公開(議事概要)
所管部署(事務局)	行政管理部 職員課

審 議 内 容

事務局より資料説明

以下5項目について説明

- ・一般職職員の給与改定状況等
- ・市長等給料額の変遷
- ・市長・副市長給料等にかかる中核市調査結果まとめ
- ・本市職員の期末・勤勉手当支給月数の変遷
- ・給与に関する法律一部改正(令和元年)

議員報酬の減額率については、さらに検討を深める必要があるため、次回審議とした旨を説明。

5月の臨時議会において、令和2年6月から令和3年3月までの間、市長は20%、副市長は10%給料月額を減額する決定がされていることを報告。

その他、平成26年10月21日付けの大阪市特別職報酬等審議会答申書写しを参考資料として配布し、答申書の形式について、会長より説明がなされた。

委員からの意見

- ・給料月額だけでなく、年収ベースで検討すべき。議員報酬も同様
- ・市長は選挙で選ばれていて、職員のように身分が保障されているものではないので、それなり

の給料額であるべきと思う。

- ・市長は頑張っておられるから、上げてもいいと思う。平成8年時点の115万円に戻せばどうか。東大阪市は結構大きな市なのに、西宮市と比べても低い。
- ・コロナの時期でなければ、せめて平成8年の水準でと思うところだが、このようなことになってしまった中で、その水準に戻すのが是非かというのを迷うところ。
- ・議員さんが下げるという話が出ているのに、ここで市長を上げるとなると、話がおかしくなると思う。
- ・有事の際に、表立って出てくるのは市長だし、副市長は市長の代行であるから、その責務を負うことになるので、少し上げてほしいと考える。
- ・市長の給料を上げないといけないと思うのは、市長は東大阪市の全責任を負うからである。
- ・地域手当を上げることはできないのか。
- ・政治家の報酬と、一般公務員の給料とは性質が違うと思う。コロナで一般市民が大変な時に、政治家の報酬を上げるというのは、おかしいのではないか。
- ・中核市60市の中央値は、105万7500円とある。せめてそのくらいだったらいいのではないか。
- ・地域手当のパーセンテージもすごく低いものではなく、給料額の位置付けもすごく下位でもないので、現状維持でいいのかなと思う。
- ・議員を下げて、市長、副市長を上げるといえるのはいかなものかと思うし、東大阪市の財政力指数は少し低いこともあり、給料を上げるという意見もあるが、見送りということでしょうか。
- ・今後、絶対に財政はひっ迫すると思う。そういうことも踏まえて、審議会では話し合った。
- ・議員を下げるなら、副市長も下げてもいいのではないか。副市長を下げないのであれば、議員も下げなくてもよい。

まとめ

- ・市長の給料額は現状維持、副市長の給料額も現状維持
- ・期末手当については、次回審議会では議員の期末手当のあり方と併せて審議する。
- ・答申書には結論だけでなく、審議において出された意見も記載する。

次回配布予定資料

- ・ 答申書案
- ・ 議員報酬減額シミュレーション（府下中核市、人口40万人以上中核市との比較）

次回の開催日程等

第6回の審議会：開催日 7月9日（木）午前10時
場 所 11F会議室（予定）